

栃木県後期高齢者医療広域連合の平成18年度の決算は、次のとおりです。

1. 決算の状況

〔決算総額〕

(単位：円、%)

区 分	平成18年度 決算額	平成17年度 決算額	比較増減	増減率
1 歳入決算額	14,176,321	—	14,176,321	皆増
2 歳出決算額	12,049,160	—	12,049,160	皆増
3 歳入歳出差引額 (1-2)	2,127,161	—	2,127,161	皆増
4 翌年度繰越財源	—	—	—	—
5 実質収支額 (3-4)	2,127,161	—	2,127,161	皆増

栃木県後期高齢者医療広域連合は、平成19年2月1日に新規の特別地方公共団体として設立されました。平成18年度の予算は、平成20年度から開始される後期高齢者医療制度を円滑にスタートさせるための諸準備事務にかかる経費を計上しました。

この予算の執行結果（決算額）は、次のとおりです。

歳入 14,176,321円

歳出 12,049,160円

平成18年度決算における歳入歳出差引額（形式収支）は2,127,161円となり、また、翌年度へ繰り越すべき財源は0円であったため、実質収支も2,127,161円の黒字決算となりました。

これら歳入歳出決算の概要は、以下のとおりです。

2. 歳入決算の状況

〔歳入決算総括表〕

(単位：円、%)

款	平成18年度 決算額	平成17年度 決算額	比較増減	増減率
1 分担金及び負担金	11,920,000	—	11,920,000	皆増
2 諸収入	2,256,321	—	2,256,321	皆増
合 計	14,176,321	—	14,176,321	皆増

○分担金及び負担金

・市町負担金

広域連合構成市町負担金（33市町分） 11,920,000円

○諸収入

・ 諸収入

普通預金利子 6円

・ 雑入

設立準備委員会決算剰余金 2,256,315円

3. 歳出決算の状況

〔歳出決算総括表〕

(単位：円、%)

款	平成18年度 決算額	平成17年度 決算額	比較増減	増減 率
1 広域連合議会費	233,839	—	233,839	皆増
2 広域連合総務費	11,657,821	—	11,657,821	皆増
3 広域連合事業費	157,500	—	157,500	皆増
合計	12,049,160	—	12,049,160	皆増

○広域連合議会費

・ 議会費

議員報酬 67,929円

議員費用弁償 108,900円

使用料及び賃借料 39,160円（会議室使用料）ほか

○広域連合総務費

・ 総務管理費

消耗品費 308,012円（参考図書、文具用品、管理用消耗品等）

光熱水費 123,955円（電気料、水道料等）

通信運搬費 229,646円（電話料、郵便料等）

使用料及び賃借料 860,516円（庁舎使用料、レンタカー使用料等）

備品購入費 670,362円（公印、電話機等）

分担金及び負担金 9,320,791円（派遣職員人件費負担金）ほか

・ 選挙管理委員会費

職員旅費 2,300円

○広域連合事業費

・ 事業費

委託料 157,500円（広域連合電算システム構築コンサル業務委託）